

# Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MFC959  
取付・取扱説明書

## AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

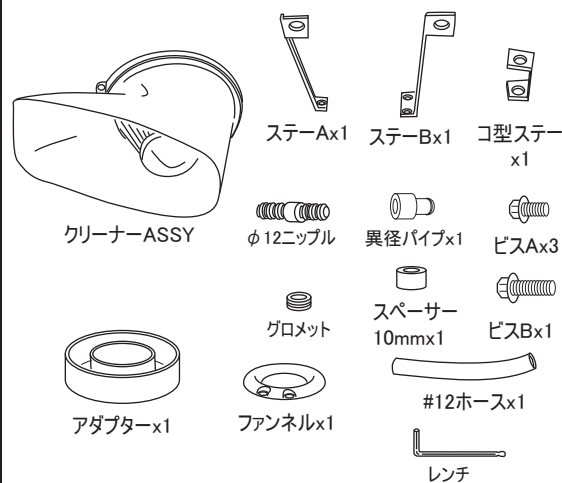
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8  
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輛に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種: FC3S 後期 RX-7 13BT

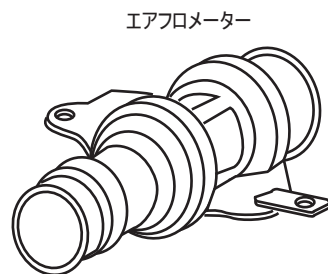
- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能なる方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ株発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

### PARTS LIST



1: エアフロメーターのカプラーを外し、ノーマルクリーナーをクリーナーケースごと取り外します。  
(エアフロメーターも一緒に取り外します)

2: クリーナーケースからエアフロメーターを取り外します。



### ラムエアインテークシステムの取付け

注) 各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

1: アダプターにファンネル及び、ステーA、Bを使用して、エアフロメーターを取り付けます。  
その時右図の様にコ型ステーも一緒に組付けます。

2: アダプターにグロメットを取り付け、ニップルを差し込み、そこにホース、異径パイプを取り付けます。

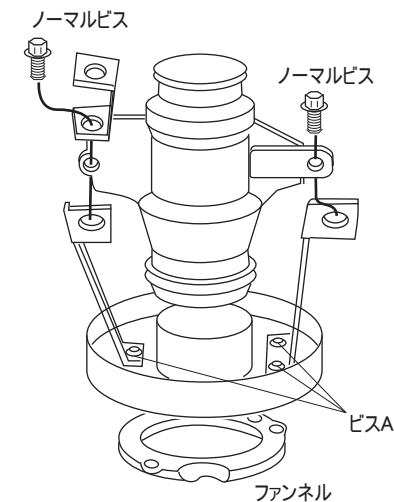
3: 組付けたエアフロメーターとアダプターをコ型ステーでボディに固定します。

4: ノーマルインテークパイプをエアフロメーターに差し込み、バンドで固定します。

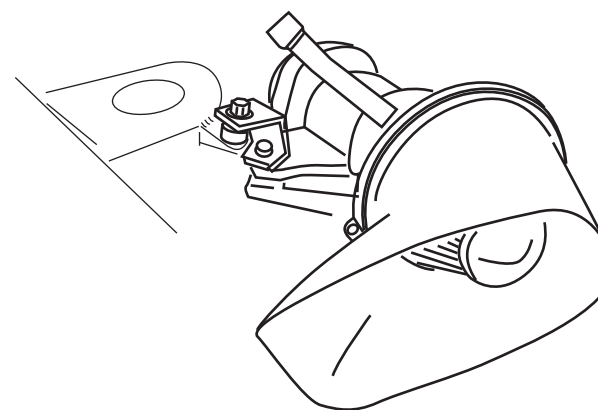
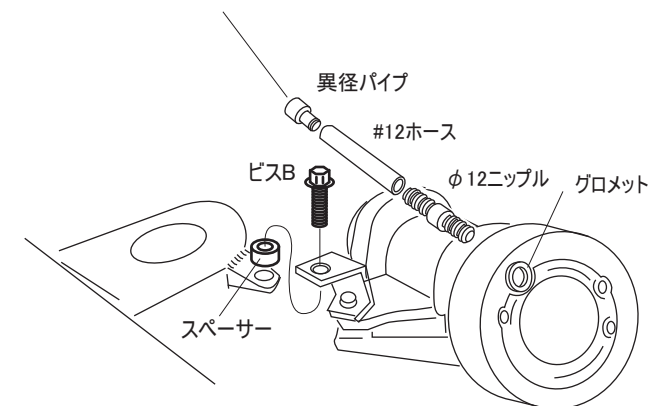
5: ノーマルエアポンプホースをパイプに差し込みます。

6: アダプターにクリーナーASSYを取付けます。  
特にバンド部とラジエーターホースとのクリアランスに注意しながら、ステーを増し締め固定します。

7: ボンネット裏のウェザーストリップをカットして取り外すと、より効果的な外気導入が可能となります。  
その場合、水の浸入を防ぐため豪雨時での全開走行等はお避け下さい。



ノーマルエアポンプホースへ



ウェザーストリップをカットして取り外す

